

平成 27 年度「がんと向き合う週間」実施要綱

1 趣 旨

現在、がんの罹患数、死亡数はともに増え続けており、国民の 2 人に 1 人ががんに罹り、3 人に 1 人ががんで死亡すると言われている。長野県においても、がんは死因のトップであり、年間 6 千人以上の県民ががんで亡くなっている。

このため、平成 25 年に制定された「長野県がん対策推進条例」で定める 10 月 15 日からの「がんと向き合う週間」期間中、県民のがんに対する理解と関心を深めるため、がんの予防、早期発見及び早期治療の推進など各種事業を実施する。

2 平成 27 年度 取組テーマ 『 塩分減らして がん予防！ 』

長野県では男女とも全国に比べ胃がんの罹患が多くなっている*。食塩摂取量の多い男性は胃がんの発生が多いことが分かっており、塩分濃度の高い食品をとる人は男女ともに胃がんのリスクが高いことが報告されている。

塩分の摂取を抑えることは胃がんの予防に有効であり、高血圧や循環器疾患のリスクの低下にもつながることから、「塩分減らして がん予防！」を今年度のテーマとし、イベントやキャンペーン等を通じて減塩の必要性を呼びかける。

※地域がん登録 2011 年データによる標準化罹患比より

○信州 ACE プロジェクトにおける「減塩」の取組について

健康福祉部が推進する「信州 ACE プロジェクト」では、長野県における 1 日の食塩摂取量の平均が県の目標量 9 グラムを上回っており、県民の約 9 割が塩分を摂り過ぎているとして、飲食店・コンビニや社員食堂での健康に配慮したメニューの提供支援や食生活改善推進員などの養成・活動支援を通じて、減塩に取り組んでいる。

3 実施期間

原則として平成 27 年 10 月 15 日から 10 月 21 日まで

4 実施機関及び協力機関

保健・疾病対策課、保健福祉事務所、市町村、民間企業等関連団体 等

5 実施事業等（例）

(1) 市町村及び地域の企業・団体等が連携した取組

保健福祉事務所と市町村及び地域の企業等と連携した各種取組の実施

(2) 県民向け講演会

県民向け講演会・シンポジウム等の開催

(3) 各種媒体による広報

広報紙、有線放送、インターネット等の活用による広報